



日建設計コンストラクション・マネジメント



小暮 恒介氏

日建設計コンストラクション・マネジメント
執行役員
Sustainability & ESG Domain 統括

小暮 恒介(こぐれ こうすけ)氏：大手建設会社、大手信託銀行を経て、2015年日建設計コンストラクション・マネジメント入社。オフィス、データセンターなどのCM業務の実績多数。22年より現職

写真：行友 重治

“おせっかいオフィス”で交流促す

大阪オフィスの改修を機に、サステナビリティを意識したリニューアルを実施した。ハードとソフトの両面からコミュニケーションを促す知見を積み重ね、顧客への還元も狙う。

——2023年5月に大阪オフィスをリニューアルしました。狙いを教えてください。

小暮 新しい大阪オフィス「O³（オースリー）」は、「大阪・おせっかい・オフィス」の頭文字を取ったネーミングです。「おせっかい」は、地元・大阪の人々が相手を思って「どないしたん？」と声を掛けることが多いことから、相手を思いやる気持ちが

コミュニケーションの基本だと考えました。

以前は一般的なオフィスでしたが、同じフロアで増床できる機会があったので、「環境」と「サステナビリティ」を意識したリニューアルをしようと企画しました。

社内向けサステナビリティ推進活動の一環でもあり、社員の交流を促す「コミュニティマネジャー」や、

仕事やキャリア、子育て・介護など様々な相談に乗ってくれる「コンシェルジュサービス」の導入など、おせっかいな取り組みをまずは自社内で追求しました。そこで蓄積した知見やノウハウを、コンサルティング事業としてお客様のワークスタイル変革の支援にも活用する計画です。

——国内でコミュニティマネジャーを置く施設は珍しいです。

サステナビリティ活動の事例



「いきたくなるオフィス」を目指してリニューアルした大阪オフィス「O³」で積み上げたノウハウは、顧客のワークスタイル変革の支援に活用する計画だ

Our 5 Challenges

- Experience Design
わくわく体験・コミュニケーションの創出
- WELL & Sustainability
WELL認証 GOLDを取得予定
- Art & Styling
小物やアートによる親しみやすい空間作り
- Community Manager
コミュニティマネジャーの配置
- Concierge Service
コンシェルジュサービスの導入



ICPMA Awardsのサステナビリティ賞を受賞した「四国水族館」(上)と「神戸ポートミュージアム」(下)

出所：日建設計コンストラクション・マネジメント

小暮 海外ではコンシェルジュサービスのある企業が多いのですが、日本はこれからです。コロナ後に対面で話す機会は増えましたが、リモートワークも浸透しています。特に当社のような業態は、ともしれば個人だけの作業になりがちな面があります。その中でコミュニケーションを促すには、気に掛ける、構うなどの「おせっかい」が必要だと考えました。

目指したのは「いきたくなるオフィス」で、コミュニケーションの創出で「わくわくする」、小物やアートによる「親しみやすい空間作り」といった5つのチャレンジを掲げています。新たに設立した事業部「Strategy & Design Management」が、ハードだけでなく経営課題の解決を目的としたソフト面の手法もまとめました。

コミュニティマネジャーやコンシェルジュを置くことで、社員のワークライフを包括的に支援することにより、プライベートが充実して仕事の生産性も上がります。まず私たち

が社内で運用し、効果についてデータを取ることで、お客様への提案が可能になります。

国内外でサステナビリティ賞獲得

——国際的なアワードを受賞しました。

小暮 23年6月にドイツのミュンヘンで開催されたICPMA（国際コンストラクションプロジェクトマネジメント協会）主催の「ICPMA Awards 2023」で、当社が支援した四国水族館（香川県宇多津町）と、神戸ポートミュージアム（神戸市）の2つのプロジェクトが「サステナビリティ賞」を受賞しました。建設プロジェクトマネジャーが中心となり、官民連携でプロジェクトの財務（経済性）と非財務（サステナビリティ）を両立させた点が高く評価されました。

プロジェクトの企画段階から参画し、資金集めから地元との調整、建築物の環境対応まで、プロジェクトの実現とサステナビリティへの取り組みを併せて手掛ける手法は欧州で

は珍しいようで、「国際的に紹介する意義がある」との評価を受けました。——社会課題の解決に向けて、環境に関する取り組みも進めています。

小暮 20年から、間伐することで森林を守っていく取り組みを進めており、「新林（しんりん）」というメディアを顧客などに配布してきました。23年5月からはウェブサイトにも展開し、さらに幅広い方に見てもらえるようにしました。

ESGやサステナビリティについてのコンサルティングだけでなく、建築全般についての専門知識があります。サステナビリティ関連の事業や活動を進めたい企業の依頼には、事業計画と一緒に建築に関する提案をすることも可能です。

大阪のO³は、当社の強みを生かす実験場という側面もあります。O³は、年内には健康と快適性を評価する「WELL認証ゴールド」を取得予定です。こうした総合的な環境への取り組みの発信も強化したいと考えています。

聞き手：安達 功（日経BP 総合研究所フェロー） E